

## 今年お世話になったレフェリーの方々 (1999年)

浅野 正二	石原 正仁	磯部 英彦	玉川 一郎	千葉 長	辻村 豊
岩山 隆寛	内山 明博	鶴野 伊津志	坪木 和久	土器屋由起子	中西 幹郎
大西 晴夫	大野 久雄	岡村 博文	中村 一	中村 尚	新野 宏
岡本 雅典	加藤 輝之	北島 尚子	西本 洋相	野沢 徹	花輪 公雄
国次 雅司	栗原 弘一	小柴 厚	林 和彦	原 昌弘	檜尾 守昭
小林 健二	近藤 純正	近藤 裕昭	廣田 道夫	藤吉 康志	古川 義純
榊原 均	佐藤 純次	鈴木 和史	三上 岳彦	道本 光一郎	村松 照男
鈴木 力英	須田 芳彦	高崎 洋見	村山 貢司	八木 正允	柳野 健
高橋 俊二	高橋 忠司	高橋 日出男	山内 豊太郎	山中 大学	吉門 洋
高敷 出	田口 晶彦	武田 喬男	吉崎 正憲		

(敬称略)

## 日本学術会議第18期会員候補者の選考対象者の募集 (公示)

日本学術会議第18期会員選出の手続きがすすめられています。日本気象学会は学術研究団体の登録を終え、関連研究連絡委員会は申請どおり「地球物理学」となりました。当学会としては、第18期会員候補者を選考し2000年2月15日(火)までに日本学術会議に届け出ることになります。

日本気象学会の会員候補者は「日本学術会議候補者等の選考方法」によって選出します。この選出方法は第13期から改訂された。常任理事会は本件について、これまでの経過や学術会議における第13期会員選考過程をふり返り慎重に検討した結果、選考方法はおおむね妥当であるので、今回も次の選考方法を採用することにしました。

- (1) 学術会議会員候補者および推薦人の選考委員会(略称 選考委員会)を設置する。選考委員会は5名の委員からなり、その委員は理事会の承認を得て、理事長が指名する。
- (2) 選考委員会は、全学会員から学術会議会員候補者の選定の際に対象とすべきものを募る(自薦を含む)。
- (3) 選考委員会は、(2)の応募者の中から、会員候補者を選考し理事長に報告する。

- (4) 理事長は選考委員会の選考結果に基づき、理事会の承認を得て会員候補者を選定し、推薦人を指名する。

会員候補者が満たすべき要件は次のとおりです。

- (1) 5年以上の研究歴を有し、優れた研究または業績がある科学者であること。
- (2) 過去において、通じて9年を越えて日本学術会議会員であったことがないもの。
- (3) 日本国籍を有すること。

つきましては、会員候補者の選考対象者を募集します。自薦・他薦を問いません。応募者は下記の要領で届け出下さい。

## 記

## 1. 届出事項

- ア) 応募者氏名、住所・連絡先(住所と異なる場合)、日本学術会議会員歴、勤務機関および職名、最終学歴、学位、ならびに簡単な研究歴。
- イ) 他薦の場合は、推薦者氏名(複数可)、連絡先ならびに被推薦者の承諾書。

## 2. 宛先: 日本気象学会事務局

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

## 3. 締切: 2000年1月17日(月)